

# 5. 予 防



## (1)火災の概況

夕張市における平成30年中の火災発生件数は7件で、そのうち建物火災は3件、車両火災は3件、その他火災は1件であった。焼損床面積は0.012㎡、焼損表面積は0.945㎡、損害額は調査中の2件を除き240,000円で、火災により2人が負傷した。

### 1 火災件数及び火災種別

#### (1) 火災件数

火災件数は7件で、前年に比べ2件の増加となった。

#### (2) 火災種別

ア 建物火災は3件で、前年同様となった。

イ 車両火災は3件で、前年に比べ2件の増加となった。

ウ その他火災は1件で、前年同様となった。

エ 林野火災は、平成7年以降23年間発生していない。

### 2 焼損面積と損害額

#### (1) 焼損面積

焼損床面積は0.012㎡、焼損表面積は0.945㎡であった。前年に比べ、焼損床面積が27.858㎡の減少、表面積は38.146㎡の減少となった。

#### (2) 損害額

調査中を除き240,000円

### 3 死傷者

火災による負傷者が発生したが、死者は平成23年3月15日以降発生していない。

### 4 出火原因

出火原因別に見ると、建物では調査中の2件を除き、「コンロ」が1件、車両火災では、「内燃機関」「排気管」「衝突により発火」がそれぞれ1件、その他火災は「ライター」が1件である。

### 5 現状と課題

平成30年中に発生した火災は7件で、前年に比べ2件増加し、過去5年間で、平成26年の火災6件を上回った。出火原因として火気取扱い不注意による出火が見受けられることから、火災予防の啓発・広報活動等のもとより、あらゆる機会を通じて、身近な火災危険の認識や防火の備えを働きかけ、市民の防火意識を高めていくことが重要である。

また、車両火災が全体の4割を占めており、整備不良が原因の火災が増加傾向にある。走行中に出火した場合、交通事故などに発展する恐れもあり、日常点検や法定点検をしっかりと行うよう促す必要がある。

さらに、全国的に火災による死者が高齢者を中心に増加していることから、住宅用火災警報器設置率の向上及び維持管理をより一層促進し、事業所等における火災予防対策と並行して強化することが課題である。

## (2) 月別火災発生状況

種別 月別	火災件数									焼損棟数				り災世帯数				死傷者			焼損 表面積 (㎡)	焼損 床面積 (㎡)	損 害 見 積 額 (千円)		
	合 計	建 物				林 野	車 両	爆 発	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損	災 人 員	死 者				負 傷 者	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																				
合計	7	0	0	0	3	0	3	0	1	3	0	0	0	3	2	0	0	2	5	0	2	0.95	0.01	240	
1月	1				1					1				1	0										
2月	1						1			0															64
3月	1						1			0															176
4月	1								1	0															
5月	1						1			0															
6月	0									0															
7月	0									0															
8月	0									0															
9月	0									0															
10月	1				1					1				1	0					1		0.95			調査中
11月	0									0															
12月	1				1					1				1	2			2	5	1			0.01		調査中

## (3) 覚知別火災発生状況

種別 覚知別	火災件数								非火災件数			
	建 物					林 野	車 両	そ の 他	合 計	虚 報	誤 報	そ の 他
	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や							
専用電話	6				3		2	1	0			
加入電話	0								0			
事後聞知	0								0			
駆け付け	0								0			
緊急通報システム	0								0			
その他	1						1		0			
総計	7				3	0	3	1	0	0	0	0

#### (4) 原因別火災発生状況

区分 原因別	火災件数									焼損棟数					り災世帯数			り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼損面積 表面積 (㎡)	損害 見積額 (千円)											
	合 計	建 物					林 野	車 両	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損						小 損										
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																											
コンロ	1	1				1			1				1	0																			0
内燃機関	1	0						1	0					0																			64
排気管	1	0						1	0					0																			176
ライター	2	1				1			1	0				0																			0
調査中	2	2				2			2				2	2			2	5	2													0.01 0.95	調査中
総 計	7	4	0	0	0	4	0	2	1	3	0	0	0	3	2	0	0	2	5	0	2											240	
備 考																																	

#### (5) 過去5年間の地区別火災件数

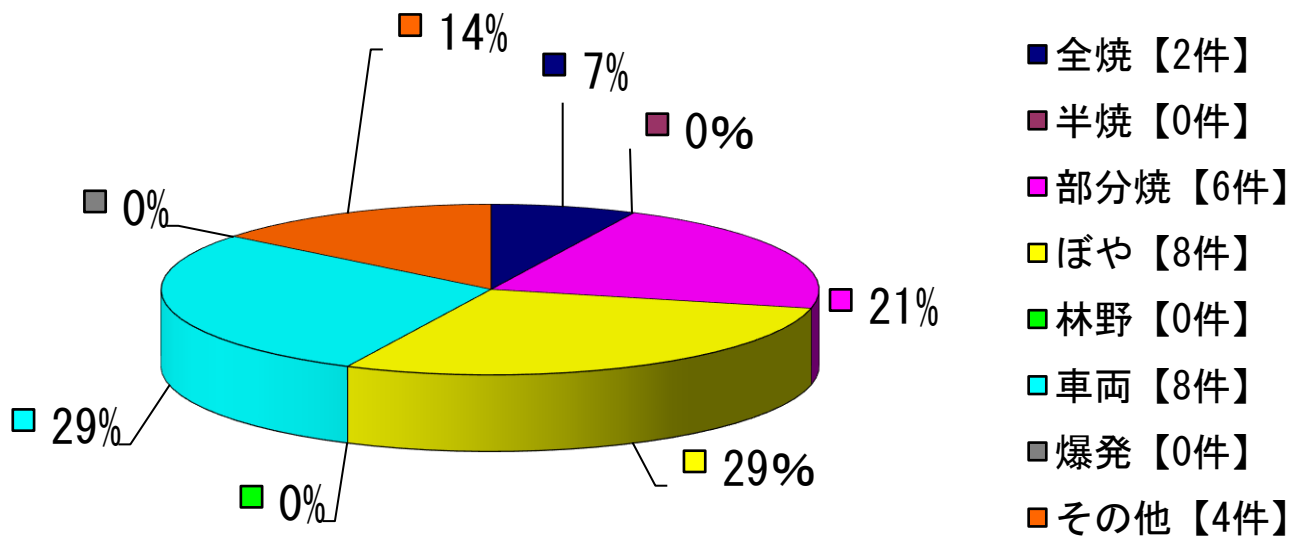
地区別 年 別	本町 (社 光・末 広・鹿 の谷を 含む)	若菜 (富 野・常 盤・千 代田・ 吉を 含む)	清水 沢 (南清 水沢を 含む)	沼ノ 沢 (真谷 地を含 む)	紅葉 山 (楓・ 登川・ 瀧ノ上 を含む)	南 部 (鹿島 を含む)	合 計
平成26年			2		2	2	6
平成27年			2	1	2		5
平成28年	2			1	1	1	5
平成29年	1		2	1	1		5
平成30年	3		1	1	1	1	7
合 計	6	0	7	4	7	4	28
平 均	1.2	0	1.4	0.8	1.4	0.8	5.6

## (6) 過去5年間の火災発生状況

※調査中を除く

種別 年別	火災件数									り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼 損 表 面 積 (㎡)	焼 損 床 面 積 (㎡)	損 害 見 積 額 (千円)
	合 計	建 物				林 野	車 両	爆 発	そ の 他							
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や											
平成26年	6	2		2	1		1							36.61	495.50	3,643
平成27年	5				1		2		2	1	1		1			1,853
平成28年	5			2	2		1			4	5			2.30	66.26	427
平成29年	5			2	1		1		1	3	6			28.87	38.10	1,931
平成30年	7				3		3		1	2	5		2	0.95	0.01	※ 248
合計	28	2	0	6	8	0	8	0	4	10	17	0	3	68.73	599.87	8,102
平均	5.6	0.4	0.0	1.2	1.6	0.0	1.6	0.0	0.8	2.0	3.4	0.0	0.6	13.75	119.97	1,620.4

### 過去5年間ににおける火災種別の割合



# 危険物

## (7) 危険物製造所等の設置状況

施設種別	施設数	危険物種別	容量 (L)
製造所 (0施設)	0施設	第4類	0 L
貯蔵所 (98施設)	屋内貯蔵所 (10施設)	第4類 アルコール類	600 L
		第1石油類	11,600 L
		第2石油類	6,000 L
		第3石油類	24,800 L
		第4石油類	12,000 L
	屋外タンク (1施設)	第4類 第3石油類	10,000 L
	屋内タンク (4施設)	第4類 第3石油類	37,400 L
	地下タンク (60施設)	第4類 第2石油類	273,059 L
		第3石油類	369,000 L
	移動タンク (22施設)	第4類 第2石油類	68,950 L
		第3石油類	6,700 L
	屋外貯蔵所 (1施設)	第4類 第3石油類	2,000 L
第4石油類		4,000 L	
取扱所 (34施設)	給油 (12施設)	第4類 第1石油類	170,400 L
		第2石油類	212,800 L
		第3石油類	12,000 L
		第4石油類	12,300 L
	一般 (22施設)	第4類 第2石油類	288,038 L
	第3石油類	61,577 L	

### (8) 危険物製造所等地区別設置状況

地区別	製造所等の区分	合計	製造所	貯蔵							取扱			
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		一般
												営業	自家	
丁	未	1		1				1			0			
高	松	1		1				1			0			
福	住	1		1				1			0			
社	光	5		4				4			1			1
旭	町	1		1			1				0			
本	町	9		7			3	4			2			2
末	広	10		5				3	2		5	1		4
鹿の	谷	5		2				1	1		3			3
常	盤	1		1				1			0			
若	菜	9		8				5	3		1		1	
平	和	2		2				2			0			
日	吉	3		3				3			0			
千代	田	3		2				2			1			1
清水	沢	17		11	1			6	4		6	2		4
南清水	沢	15		13	6	1		4	1	1	2	1	1	
沼ノ	沢	15		11				8	3		4	1		3
真	谷地	1		1				1			0			
紅葉	山	17		11	3			5	3		6	2	1	3
登	川	2		1				1			1			1
南	部	14		12				7	5		2	2		
総計		132	0	98	10	1	4	60	22	1	34	9	3	22

(9) 危険物製造所等許認可状況

製造所等の別		合計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
許 可	設 置	1		1						1		0					
	変 更	0		0								0					
	常置場所 の 変 更	他許可行政庁に転出	0		0								0				
		他許可行政庁から転入	1		1						1		0				
完 成 検 査	設 置	0		0								0					
	変 更	1		1			1					0					
	他許可行政庁から転入	1		1						1		0					
廃 止 届		1		1						1		0					
	完成検査前に設置許可の取消し処分	0		0								0					
増 減 数	設 置 許 可	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	設 置 完 成 検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
備 考		※ 設置許可増減数（1行+4行-3行-8行） 設置完成検査増減数{5行+7行-3行-(8行-9行)}															

(10) 手数料収入額状況

(単位：千円) ※千円未満四捨五入

合計	製造所等の許可・完成検査・完成検査前検査					仮貯蔵・仮取扱及び仮使用			証明書の交付		
	許可手数料			完成検査 手数料	完成検査前検査手数料	小計	仮貯蔵 手数料	仮取扱 手数料	仮使用 手数料	小計	再交付 手数料
	小計	設置	変更								
52	39	26	13	0		0				0	



(11) 対象別避難訓練実施状況

防火対象物の区分		訓練実施対象物数				
		消火訓練		避難訓練		
		1回実施	2回以上実施	1回実施	2回以上実施	
1	イ					
	ロ		1		1	
2	イ					
	ロ					
	ハ					
3	イ					
	ロ					
4		4		4		
5	イ	1	2	1	2	
	ロ	1			1	
6	イ	(1)				
		(2)				
		(3)				
		(4)				
	ロ	(1)	3	4	3	4
		(2)				
		(3)				
		(4)				
		(5)				
	ハ	(1)	2	1	2	1
		(2)				
		(3)				
		(4)				
(5)		1	2	1	2	
ニ		1		1	1	
7		1	2	1	2	
8						
9	イ					
	ロ					
10						
11						
12	イ	1	1	1	1	
	ロ					
13	イ					
	ロ					
14						
15		1	1	1	1	
16	イ	1	2	2	2	
	ロ					
16の2						
16の3						
17						
高層建築物						
合計		17	16	17	18	

## (12) 防火管理者選任状況

防火管理者が必要な防火対象物及び防火管理者選任数

防火対象物		区分	対象数	選任数
1項	イ	劇場、映画館	2	2
	ロ	公会堂又は集会場	12	12
2項	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1
3項	イ	料理店	0	0
	ロ	飲食店	2	2
4項		百貨店、マーケットその他の店舗	9	9
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	10	10
6項	イ	病院、診療所又は助産所	0	0
	ロ	老人ホーム、グループホーム	9	9
	ハ	デイサービスセンター、養護学校、保育園	7	7
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	2
7項		学校（各種学校その他これに類するもの）	3	3
8項		図書館、博物館、美術館	1	1
9項	イ	特殊浴場	0	0
	ロ	公衆浴場	3	3
11項		神社、寺院、教会	12	11
12項	イ	工場又は作業場	3	2
15項		前各号に該当しない事業所	7	7
16項	イ	複合用途	4	4
	ロ		1	1
合 計			91	89

### (13) 建築確認同意

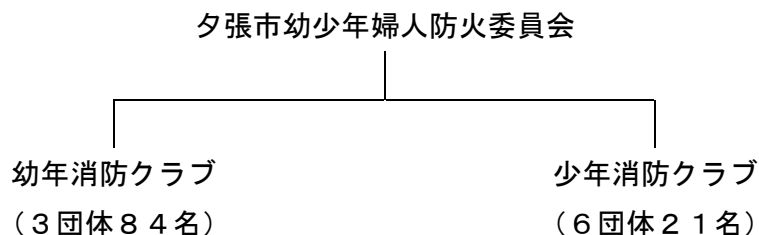
#### ①用途別構造別建築確認同意状況

用途別 \ 構造別	耐火造		準耐火造		木造		その他		合計	
	件数	面積 (m <sup>2</sup> )	件数	面積 (m <sup>2</sup> )	件数	面積 (m <sup>2</sup> )	件数	面積 (m <sup>2</sup> )	件数	面積 (m <sup>2</sup> )
専用住宅	0	0	0	0	0	0	1	96	1	96
共同住宅	0	0	0	0	4	1,606	0	0	4	1,606
事務所	0	0	1	1,747	0	0	0	0	1	1,747
警察官駐在所	0	0	0	0	1	141	0	0	1	141
飲食店	0	0	1	186	0	0	1	268	2	454
水力発電所	0	0	1	1,330	0	0	0	0	1	1,330
自動車車庫	0	0	1	73	0	0	0	0	1	73
合計	0	0	4	3,336	5	1,747	2	364	11	5,447

#### ②地区別用途別建築確認同意状況

地区別 \ 用途別	専用住宅	共同住宅	事務所	警察官駐在所	飲食店	水力発電所	自動車車庫	計
	ずい北	件数	2			2		
m <sup>2</sup>		645			454			1,099
ずい南	件数	1	2	1	1	1	1	7
	m <sup>2</sup>	96	961	1,747	141	1,330	73	4,348
合計	件数	1	4	1	1	2	1	11
	m <sup>2</sup>	96	1,606	1,747	141	454	1,330	5,447

## (14) 防 火 団 体



### ○ 夕張市幼少年婦人防火委員会

会 長	夕張市消防長	
委 員	夕張市消防団長	夕張保育協会理事長
	沼ノ沢少年消防クラブ幹事長	南部少年消防クラブ幹事長
	新夕張保育園園長	
監 事	新夕張保育園園長	沼ノ沢少年消防クラブ幹事長

### ○ 幼年消防クラブ

クラブ名	クラブ員数	結成年月日
新夕張保育園幼年消防クラブ	24名	昭和61年 6月 3日
清陵保育園幼年消防クラブ	40名	昭和61年 6月 3日
沼ノ沢保育園幼年消防クラブ	20名	昭和61年 6月 3日

### ○ 少年消防クラブ

クラブ名	クラブ員数	結成年月日
若菜少年消防クラブ	0名	平成 7年 4月 24日
清陵二区少年消防クラブ	0名	昭和59年 7月 11日
沼ノ沢少年消防クラブ	11名	昭和31年 5月 5日
真谷地六区少年消防クラブ	0名	昭和42年 5月 20日
紅葉山少年消防クラブ	0名	昭和33年 9月 1日
南部少年消防クラブ	10名	昭和37年 12月 15日

### ● 消防クラブ活動

- ・ 少年消防クラブによる夜回りの実施

## (15) 予防技術検定資格取得状況

平成30年 取得状況

検定区分 資格区分	人数	内 訳		
		防火査察	消防用設備等	危険物
検定資格者 ※1	2	1	0	1

平成30年12月31日現在 合計

検定区分 資格区分	人数	内 訳		
		防火査察	消防用設備等	危険物
検定資格者 ※1	4	4	1	2
認定資格者 ※2	4	4	4	4

※重複取得含む

※1 資格区分の検定資格者とは、資格者告示第1条各号の規定により予防技術資格者の資格を得た者

※2 資格区分の認定資格者とは、資格者告示附則第4項各号の規定により予防技術資格者の資格を得た者